

# 総額 446億6千万円

新年度予算は3月6日に開会した市議会定例会議に上程、24日に各上程議案が可決されました。

## 一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、155億700万円となっており、前年度当初予算154億2千700万円に比べて、0.5%増（8千万円）となっています。

前年度と比較して予算額が増加しているのは、対象者の増加が見込まれる障がい福祉サービス事業などの扶助費をはじめとする義務的経費のほか、交流・防災拠点として再整備を図る「日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業」、津波等災害発生時の避難道路となる「市道幹線月ノ輪金磯線」の拡幅整備などの継続的課題への対応が主な要因となっています。

新年度の主な事業としては、立江柳瀬地区への地域活性化インターチェンジの設置などに係る「小松島南部地区都市再生整備事業」や子育て世帯の経済的負担軽減に向けた「子どもはぐくみ医療費助成事業」の助成対象年齢の拡大等を計上しています。また、地方創生推進交付金を活用した客船入港や観光イベント等の地方創生関連事業に加え、「ふるさと納税寄附」に対する返礼品目の追加などにより本市の魅力発信の強化にも取り組めます。

今後の中期的な財政見通しについては、施設の統廃合や集約化による公共施設の再編等の大型建設事業が予定されていることから、引き続き厳しい財政認識の下、予算編成にあたることもに行財政改革への取り組みを推し進めながら、持続可能な財政運営に努めてまいります。

### 【産業の振興とブランド産品育成】

☆小松島市ふるさと応援寄附金事業、中小企業振興事業、6次産業化支援事業など。

### 【観光交流によるにぎわい創出】

☆観光・イベント振興事業、客船入港歓迎事業、地域おこし協力隊事業など。

### 【市民参画と協働の推進】

☆広報広聴推進事業、行政不服審査会運営事業など。

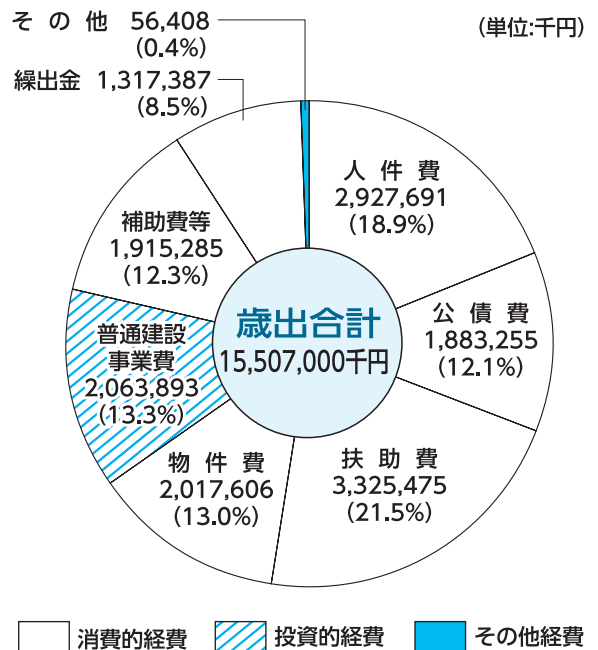
### 【人口減少社会における行政運営】

☆固定資産台帳システム管理運営事業など。

### 主な普通建設事業は次のとおりです （百万円未満は四捨五入）

- ☆都市基盤整備事業 4億4千200万円
- ☆消防施設整備事業 1千500万円
- ☆公営住宅整備事業 1億7千200万円
- ☆庁舎・福祉施設整備事業 2億8千900万円
- ☆文教施設整備事業 1億3千400万円
- ☆農林水産事業 1億7千300万円
- ☆道路・河川整備事業 4億8千400万円
- ☆環境衛生整備事業 3億5千500万円

## 一般会計歳出（性質別）の状況



## 特別会計予算

### 【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。国際自転車競技支援競輪（GⅢ）の開催が予定されていることから前年度比41.7%の増となっています。

### 【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比2.4%の増となっています。

### 【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比1.0%の減となっています。

### 【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

### 【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比0.5%の増となっています。

### 【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、大雨等に対する浸水対策を実施します。川北3号雨水幹線函渠築造工事などを行い、前年度比31.4%の増となっています。